



干潟にはたくさんの人が訪れ、生き物観察会や清掃活動等が行われます。「大人になっても、もう一度来てみたい」。そんな松名瀬海岸を守り続けています。

西黒部まちづくり協議会

各地域の住民協議会の活動をシリーズで紹介しています。



地区防災訓練

全ての町が海岸に面する西黒部地区は、伊勢湾や地区内を流れる榎田川をはじめとする豊かな水資源の恩恵を受け、発展してきた地域ですが、同時に洪水・津波など水害に備えることが重要な課題となっています。協議会では「一人の被害者も出さない」を合言葉に、西黒部小学校と合同で地域を挙げて訓練を行い、常日頃の防災意識の高揚に取り組んでいます。

西黒部まちづくり協議会は平成24年3月に設立されました。「みんなが安全で安心して暮らせる西黒部地区」を目指し、「安全安心な地域防災活動」「自然環境を守り美しいまちづくり」「情報の伝達ができるまち」「子どもと高齢者が健康で楽しく暮らせるまち」「世代間を超えたコミュニケーションができるまち」の5項目を将来像に据えて3つの部会（「安全防災部会」「自治会・福祉部会」「生涯学習部会」）が活動しています。

高須、松名瀬の3つの町があり、松名瀬町にある松阪市唯一の海水浴場には、県内はもちろん他県からも多くの人が訪れ、観光地として知られています。

地域の特色を生かした行事として、夏休みには子どもたちを対象とした「魚つかみ大会」があり、みんな大きなクーラーボックスをいっぱいにして満面の笑みで帰っていきます。

毎年春には西黒部小学校と合同で運動会が開催され、老若男女が一緒になって競技に参加し、大きな笑い声に包まれます。

新年には凧揚げ大会を開催し、西黒部小学校の子どもたちが作る連凧やPTAの役員さんたちが工夫を凝らして作る凧、3町が気合を入れて作る大凧、小学生や幼稚園児が個々に作る凧など、たくさんの凧が順次空に舞い、表彰式にはクライマックスを迎え入賞者には大きな歓声が巻き起こります。

また、沿岸部に位置していることから防災には力を入れており、平成30年度には字別に災害図上演習を行い、西黒部地区防災計画（津波・地震編）を策定しました。今後はその計画に沿った防災訓練を実施していく予定です。

お知らせ

凧揚げ大会



令和2年1月25日(土)に開催します。西黒部幼稚園児、西黒部小学校児童の凧や各自治会の大凧など大空にたくさんの凧が舞います。他所の方も大歓迎、見学や自前の凧を持ってご参加ください。

活動紹介



健康花見大会

みんなでラジオ体操をして始まります。子どもたちと一緒に餅をついたり、公民館サークルの大正琴やキッズダンスの披露などが催され、桜にさらに花を添えました。



盆踊り大会

毎年お盆過ぎに実施します。青年団による露店が立ち並び、音頭取りに合わせて「しょんがい踊り」を踊り、次世代に郷土文化を伝承します。



地区体育祭

今年は新しい種目を実施し、子どもたちと一緒に楽しみました。また、3町対抗の競技では、応援も含めて大いに盛り上がりました。